

小教第965号  
令和7年2月20日

小千谷市立小中学校の在り方検討委員会  
委員長様

小千谷市教育委員会  
教育長 松井 周之輔

## 諮問書

小千谷市立小中学校の在り方検討委員会設置要綱に基づき、下記事項について諮問する。

### 記

#### 【諮問事項】

##### ①小学校及び中学校における学校の適正な規模

児童生徒が多様な学びの機会を得られ、健全な人間関係を築き、教育の質を維持するために望ましい学級数について。

##### ②小学校及び中学校における適正な通学距離及び通学時間

児童生徒の安全面や負担面、交通手段等を総合的に勘案した適正な通学距離及び通学時間について。

##### ③将来を展望した教育環境の在り方

市全体を考えた魅力あふれる望ましい教育環境の整備について。

#### 【諮問理由】

当市では、少子化に伴う児童生徒数減少が急速に進んでいる。小学校では、学校規模がアンバランスな状態となっており、突出して児童数が多い大規模校とクラス替えができない小規模校・過小規模校が発生している。小規模校では、集団の中で多様な考えに触れる機会が少ないことや、過小規模校では複式学級の発生により、発達段階よりも一段階上の学習を行っており、児童に大きな負担をかけているといった課題が生じている。中学校では、生徒数が少ないことで、専門の免許を持っている専任教員の配置ができていないことや、部活動種目で生徒の興味や適性に合った選択ができないこと、1校でのチーム編成が困難であるといった課題が生じている。

このように、学校の本来の特性である児童生徒が集団で協力・切磋琢磨しながら学び、成長していくことが困難であり、今後も当市の教育環境に大きな影響を及ぼすことが見込まれるため、これらの課題に対して早急な対応が必要である。

以上の状況を踏まえ、当市全体の将来を展望した持続可能で魅力あふれる教育環境の在り方について検討いただきたく、貴委員会に諮問するものである。